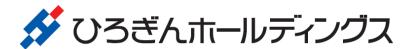
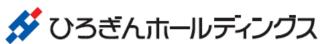
2025年3月期決算ハイライト および 「中期計画2024」の見直し

2025年5月12日





一 目次

I. 2024年度の決算ハイライト

Ⅱ. 2025年度の業績予想

皿.「中期計画2024」の見直し

IV. 資本政策·株主還元

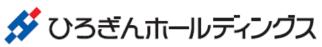
••• p.2 - 13

· · · p.14 - 15

· · · p.16 - 21

••• p.22 - 24

未来を、ひろげる。



I. 2024年度の決算ハイライト

2024年度決算の概要

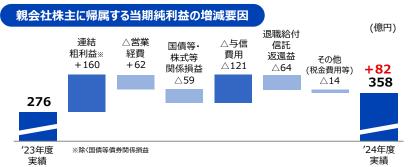
親会社株主に帰属する当期純利益は、前年比82億円増益の358億円となり、過去最高益を更新。

連結業績サマリー

		r				(億円)
		20	24年度	前年比	(増減率)	公表比
連結粗利益			1,128	121	(12.0%)	
(除く国債等債券関係損益)		1	1,191	160		
資金利益			857	128		
役務取引等利益			260	19		
特定取引・その他業務利益			10	△ 26		
(うち国債等債券関係損益)		2	△ 62	△ 38		
営業経費	(△)	3	641	62		
与信費用	(△)	4	29	△ 121		
株式等関係損益			55	△ 21		
持分法による投資損益			0	0		
その他			8	20		
経常利益			521	180	(52.8%)	16
特別損益			△ 11	△ 69		
うち退職給付信託返還益			-	△ 64		
法人税等合計	(△)		151	29		
非支配株主に帰属する当期純利益	(△)		0	0		
親会社株主に帰属する当期純利益		5	358	82	(29.4%)	8
(参考)営業経費率 ※			53.9%	△ 2.3%		

2024年度決算のポイント

- 1 連結粗利益(除く国債等債券関係損益)
 - 地元を中心とした残高の増加と利回り改善による貸出金利息の増加や、 有価証券運用の収益力強化により、資金利益が大幅に増加
- 2 国債等債券関係損益
 - 安定的かつ継続的に高い収益性を確保できる有価証券ポートフォリオの構築に 向け、低利回りの債券を処分
- 3 営業経費
 - 人的資本投資やDX・IT投資を中心とした、成長投資へ積極的に投入
- 4 与信費用
 - 前年に計上した大口先に対する引当金繰入の反動減
- 5 親会社株主に帰属する当期純利益
 - 前年比82億円増益の358億円となり、過去最高益を更新



[※] 営業経費率 = 営業経費÷(連結粗利益-国債等債券関係指益)

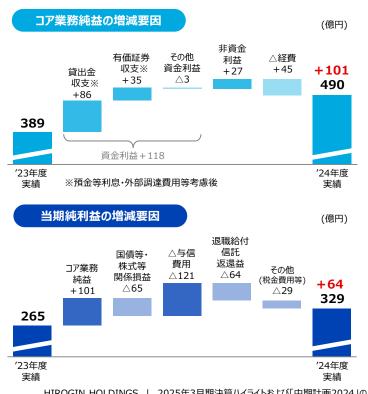
主要グループ会社の実績 - 広島銀行 -

貸出金収支、有価証券収支、非資金利益(手数料収入)とも増加し、本業の収益力を示すコア業務純益は前年比101億円増益、 当期純利益は前年比64億円増益。

広島銀行 業績サマリー

(億円) 2024年度 前年比 (増減率) コア業務粗利益 1,065 145 (15.7%)資金利益 859 118 27 非資金利益 205 法人ソリューション 74 16 アセットマネジメント 42 \wedge 7 個人ローン関連収益 35 17 その他(内国為替、外国為替等) 54 (\triangle) 575 経費 (除(臨時処理分) 45 コア業務純益 (25.8%) 490 101 コア業務純益 (除く投信解約損益) 490 101 (25.8%)国債等債券関係捐益 △ 62 \wedge 38 実質業務純益 (17.0%) 427 62 与信費用 (\triangle) △ 121 株式等関係損益 55 △ 27 その他臨時損益 17 経常利益 477 163 (51.5%) 特別損益 \wedge 69 \triangle 11 うち退職給付信託返還益 △ 64 法人税等合計 (\triangle) 29 136 当期純利益 329 (24.2%)

コア業務純益・当期純利益の増減要因



主要グループ会社の実績 - 広島銀行以外 -

- グループ会社当期純利益の合計は、前年比4億16百万円増益の30億5百万円。
- 金融連結子会社は、各社とも概ね増益となり、業績は堅調に推移。マーケットが不安定な状況が継続した影響により、ひろぎん証券は減益。
- 非金融連結子会社は、人的資本投資など将来に繋がる成長投資が先行したことにより減益となるも、全社黒字を確保。

主要グループ会社 業績サマリー

金融連結子会社

非金融連結子会社

7	うざん証券		V.	ろぎんリース		しまなみ債権回収 ひろぎんキャピタルパートナーズ		ひろぎんクレジットサービス		ービス				
(百万円)	2024年度	前年比	(百万円)	2024年度	前年比	(百万円)	2024年度	前年比	(百万円)	2024年度	前年比	(百万円)	2024年度	前年比
業務粗利益	4,719	△ 312	業務粗利益	2,990	451	業務粗利益	684	△ 7	業務粗利益	232	79	業務粗利益	4,063	318
経常利益	678	△ 315	経常利益	1,474	432	経常利益	97	21	経常利益	87	658	経常利益	1,907	45
当期純利益	478	△ 174	当期純利益	940	228	当期純利益	55	14	当期純利益	60	457	当期純利益	1,254	35

ひろぎんき	ライフパート	ナーズ※	ひろぎん	ヒューマンリ	ソース	ひろぎん	エフリュー	ションズ	ひろぎ	んエリアデサ	デイン	グループ:	会社当期糾	利益※
(百万円)	2024年度	前年比	(百万円)	2024年度	前年比	(百万円)	2024年度	前年比	(百万円)	2024年度	前年比	(百万円)	2024年度	前年比
業務粗利益	7	_	業務粗利益	308	36	業務粗利益	1,008	△ 200	業務粗利益	347	△ 65	グループ会社	3,005	416
経常利益	△ 56	_	経常利益	32	△ 32	経常利益	113	△ 288	経常利益	59	△ 26	当期純利益	重結子会社等の	
当期純利益	△ 39	_	当期純利益	16	△ 25	当期純利益	81	△ 182	当期純利益	51	△ 7		単結子芸社等の 注乗じた額の合計	

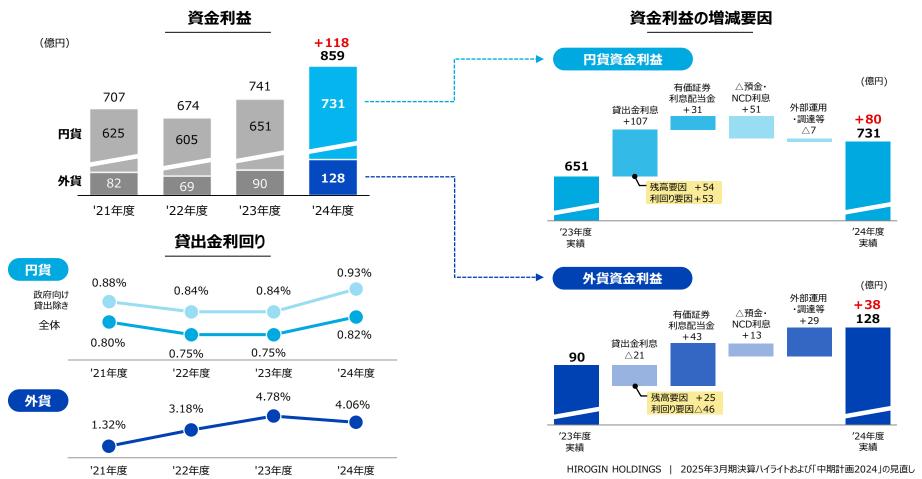
※2024年1月設立、7月事業開始

主要グループ会社の実績 - 広島銀行以外 -

主要グループ会社 実績

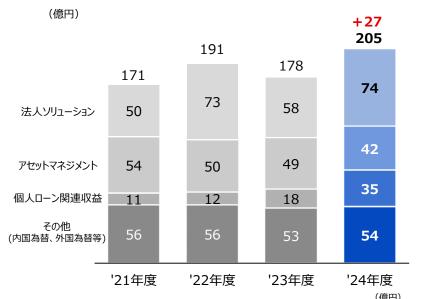
	グループ会社		持株会社体制移行('20/10)後の実績					
	ひろぎん証券	預り資産残高	′20/9末 7,131 _{億円} Ⅲ	′24/3末 1 _兆 220 _{億円} ⊪	′25/3末 9,853 億円	′20/9末比 (₊2,722_{億円})		
	ひろぎんリース	取引先数	′20/9末 6,158 _先 IIII	′24/3末 6,443 _先 ■	′25/3末 6,445 _先	′20/9末比 (₊287_先)		
金融連	ひろぎんキャピタル パートナーズ	出資残高 (ファンド・ブリンシパル投資合計)	'20/9末 1 _{億円} Ⅲ	′24/3末 41 _{億円} ⊪	′25/3末 50 _{億円}	′20/9末比 (₊49_{億円})		
金融連結子会社	ひろぎんクレジットサービス	保証残高	′20/9末 8,745 _{億円} Ⅲ	^{′24/3末} 9,850 _{億円} ■	′25/3末 1 兆 933 億円	′20/9末比 (+2,188 億円)		
在	しまなみ債権回収	買取債権額	′20/9末 14 _{億円} Ⅲ	′24/3末 20 _{億円} Ⅲ	′25/3末 16 _{億円}	′20/9末比 (₊ 2_{億円})		
	ひろぎんライフパートナーズ ′24年1月設立、7月事業開始	金融商品仲介口座数	′24年7月以降累計	- ""	′25/3末 94 _{□座}			
非金	ひろぎんヒューマンリソース ′21年4月設立	顧問契約社数	′21年4月以降累計	′24/3末 110 社 ■	′25/3末 142 社			
非金融連結子会社	ひろぎんITソリューションズ ′21年1月子会社化	案件成約件数	′21年1月以降累計	′24/3末 535 社 ■	′25/3末 694 社			
会社	ひろぎんエリアデザイン ′21年4月設立	受注案件数	′21年4月以降累計	′24/3末 70 件	′25/3末 115 #			

資金利益



非資金利益

非資金利益 = 役務取引等利益 + 特定取引利益 + その他業務利益(除く国債等債券関係損益)



					(1/5/1 1)
	′21年度	′22年度	′23年度	′24年度	前年比
アセットマネジメント (広島銀行+ひろぎん証券)	117	94	102	92	△ 10
うち広島銀行	54	50	49	42	△ 7
うちひろぎん証券 ※	63	44	53	50	△ 3

※ 純営業収益(銀行に支払う仲介手数料控除後)

法人ソリューションの内訳 +16 74 73 (億円) 9 9 58 4 11 50 15 その他 9 9 22 船舶関連 6 17 35 シンジケートローン等 17 23 15 対顧向けデリバティブ 12 事業承継支援・ 9 M&A等 '21年度 '22年度 '23年度 '24年度 アセットマネジメントの内訳 (億円) 54 50 49 △7 その他 8 8 7 42 信託 7 5 8 8 金融商品仲介 10 7 6

20

'22年度

18

'21年度

保険

投資信託

19

'23年度

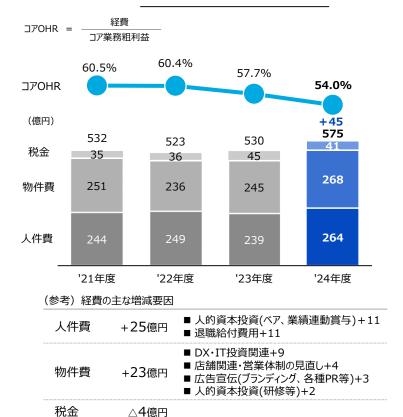
15

10

'24年度

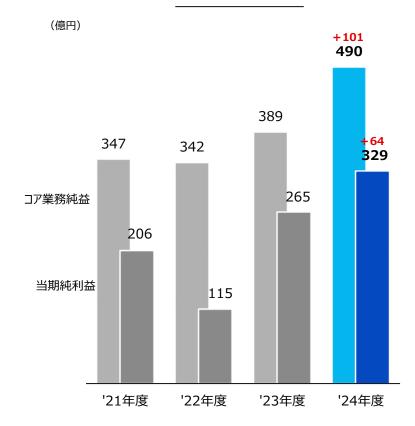
経費、コア業務純益/当期純利益

経費(除く臨時処理分)・コアOHR



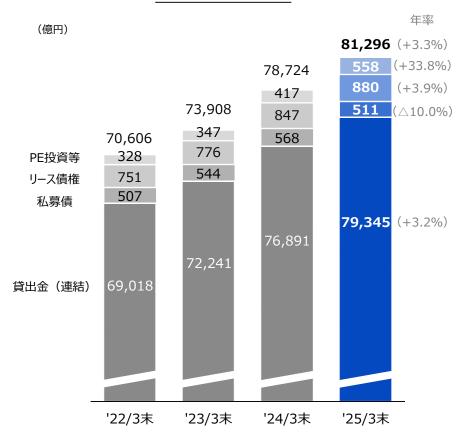
計 +45億円

コア業務純益/当期純利益

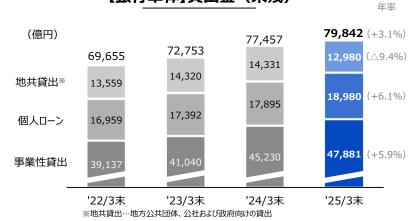


グループ総与信(未残)・貸出金(未残)





【銀行単体】貸出金(末残)



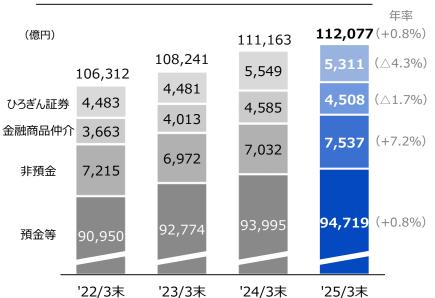
【銀行単体】貸出金の地域別内訳(末残)

(億円)

					(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
	′22/3末	′23/3末	′24/3末	′25/3末	′24/3末比
貸出金残高	69,655	72,753	77,457	79,842	2,385
地元4県	53,371	54,840	58,159	60,072	1,913
広島県	42,251	42,965	45,197	46,776	1,579
岡山県	3,475	3,561	3,721	3,977	256
愛媛県	5,461	5,986	6,887	6,885	△ 2
山口県	2,184	2,328	2,354	2,431	77
その他の地域	16,284	17,913	19,298	19,770	472
うち政府向け	7,041	7,835	7,855	6,622	△ 1,233
			× ***		

総預り資産(広島銀行+ひろぎん証券 未残)、預金等(未残)

【HD連結】総預り資産(広島銀行+ひろぎん証券 末残)



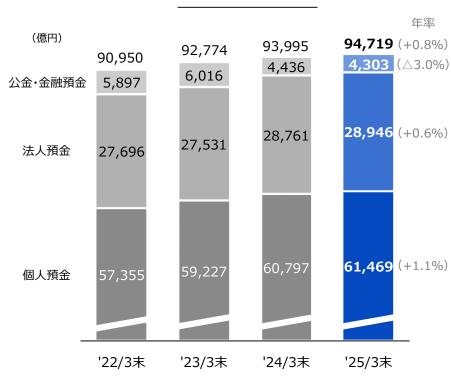
- ※1 ひろぎん証券および非預金の残高には、金融商品仲介は含んでおりません。
- ※2 ひろぎん証券の残高は、時価ベースです。
- ※3 「ひろぎんアプリを通じた金融商品仲介(楽天証券・SBI証券)は含んでおりません。

//空四)

					(1息円)
	'22/3末	'23/3末	'24/3末		'24/3末比
ひろぎん証券残高 (金融商品仲介含む)※	8,100	8,425	10,220	9,853	△367
(参考)日経平均株価(円)	27,821	28,041	40,369	35,618	△4,751
	A				

※ ひろぎん証券(金融商品仲介含む)は、時価ベースです。

【銀行単体】預金等(末残)



※ 預金等は、譲渡性預金を含んでおります。

有価証券(未残)·有価証券評価損益

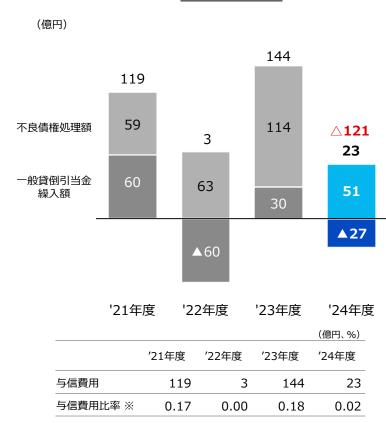
有価証券(末残) 年率 **19,123** (+7.5%) (億円) 17,792 **317** (+42.8%) 16,690 222 **2,755** (\triangle 2.7%) 15,815 その他 163 2,832 投資信託 1,626 162 **1,175** (△16.7%) 1,943 1,080 株式 1,411 **3,187** (+16.2%) 1,098 外債 3,343 2,743 2,206 2,911 (+0.1%)社債 2,832 2,909 2,913 **2,837** (△13.7%) 地方債 2,639 3,286 3,179 **5,937** (+35.4%) 5,004 国債 4,312 4,386 '22/3末 '23/3末 '24/3末 '25/3末 ′23年度 ′24年度 前年比 有価証券利回り 0.37% 0.67% (+0.30%) (外部調達コスト控除後)

有価証券評価損益

					(億円)
	'22/3末	'23/3末	'24/3末	'25/3末	'24/3末比
満期保有目的	-	0	0	△ 31	△ 32
その他有価証券 ※	15	△ 125	334	△ 278	△ 613
株式	316	406	610	452	△ 158
債券	△ 112	△ 213	△ 287	△ 689	△ 402
国債	△ 84	△ 140	△ 169	△ 420	△ 251
地方債	△ 17	△ 43	△ 60	△ 125	△ 65
社債	△ 10	△ 30	△ 57	△ 143	△ 86
その他	△ 189	△ 318	12	△ 42	△ 54
うち外債	△ 160	△ 224	△ 206	△ 144	62
うち投資信託	△ 29	△ 96	216	92	△ 124
合計	15	△ 125	335	△ 310	△ 645
※ヘッジ考慮後の評価損益					
その他有価証券(ヘッジ考慮前)	15	△ 125	334	△ 278	△ 613
金利スワップ	11	29	-	83	83
その他有価証券(ヘッシラ考慮後)	26	△ 96	334	△ 194	△ 529

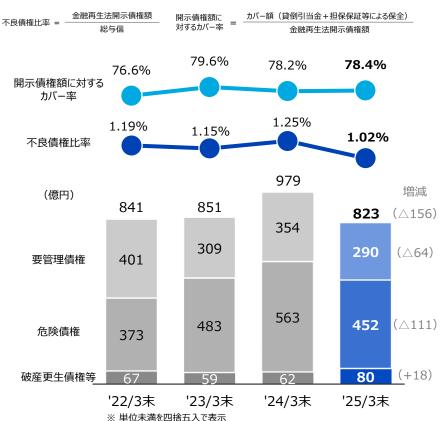
与信費用·不良債権

与信費用·与信費用比率

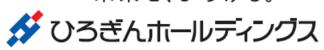


※ 与信費用比率 = 与信費用 ÷ 貸出金残高

金融再生法開示債権額·不良債権比率



未来を、ひろげる。



Ⅱ. 2025年度の業績予想

2025年度の業績予想

2025年度の親会社株主に帰属する当期純利益は、2年連続の過去最高益となる400億円を見込む。

2025年度の業績予想

(億円)

	中間期業績予想	2025年度 業績予想	前年比
経常利益	275	570	49
親会社株主に帰属する当期純利益	190	400	42

(参考) 広島銀行の2025年度の個別業績予想

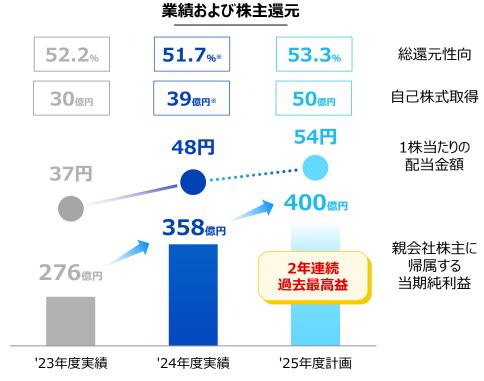
(/会田)

	中間期 業績予想	2025年度 業績予想	前年比						
資金利益		975	116						
非資金利益		210	5						
コア業務粗利益		1,185	120						
経費 (△)		615	40						
コア業務純益		570	80						
うち有価証券関係損益		10	17						
うち与信費用 (△)		70	47						
経常利益	255	520	43						
当期純利益	180	365	36						

業績予想の前提となるマーケットシナリオ

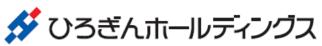
: (短期) 日銀政策金利 0.50% (長期) 10年国債金利 1.40% (短期) FF金利 3.75% (長期) 米10年国債金利 4.50%

為替(ドル/円): 145円 日経平均株価: 35,000円



※自己株式取得額50億円のうち100万株については、2025年6月開催予定の第5期定時株主総会の 承認を条件に、ひろしま美術館に対する賛助を目的とした第三者割当による自己株式処分を予定して おり、実質的な自己株式取得額は39億円として試算

未来を、ひろげる。



Ⅲ.「中期計画2024」の見直し

2028年度目標の主な見直し内容

見直しの背景

- 昨年公表した「中期計画2024」における金利シナリオは日本銀行 政策金利0.1%としており、現状の市場環境と乖離が生じている。
- 市場環境の変化を踏まえるなか、日本銀行の政策金利が段階的 に1.0%へ上昇するシナリオへの見直しを実施。

(政策金利シナリオ)

				一 見	直し前		- 見し	直し後
	'25	'25年度 '26年度		年度	'27年度		'28年度	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
□ 1 28/-	20	26年4月	2	027年4 1.00 %	月。			
日本銀行 政策金利	0	26年4月 . 75 %						
							0	.1%

(その他マーケットシナリオ - 2028年度 -)

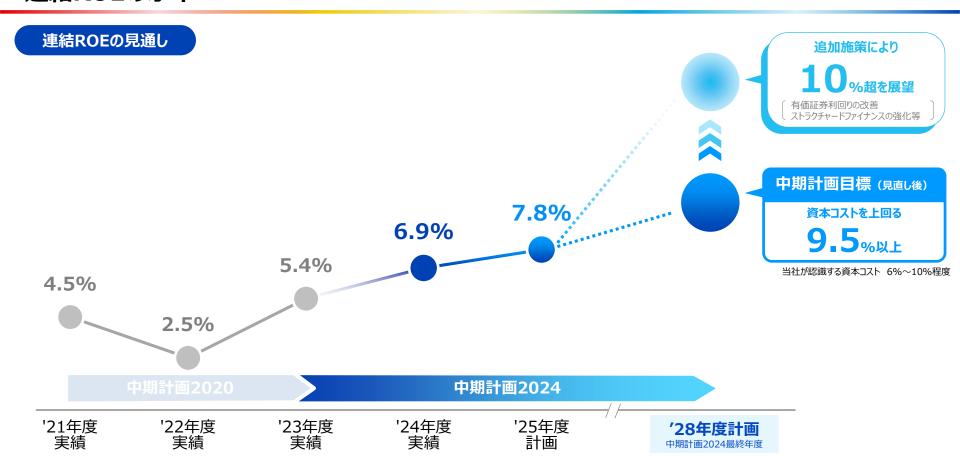
(見直し前)	(見直し後)
1.50%	2.00%
3.00%	3.75%
3.75%	4.30%
135ฅ	140 円
41,000 _円	44,000 _円
	1.50% 3.00% 3.75% 135 _円

見直し内容(2028年度)

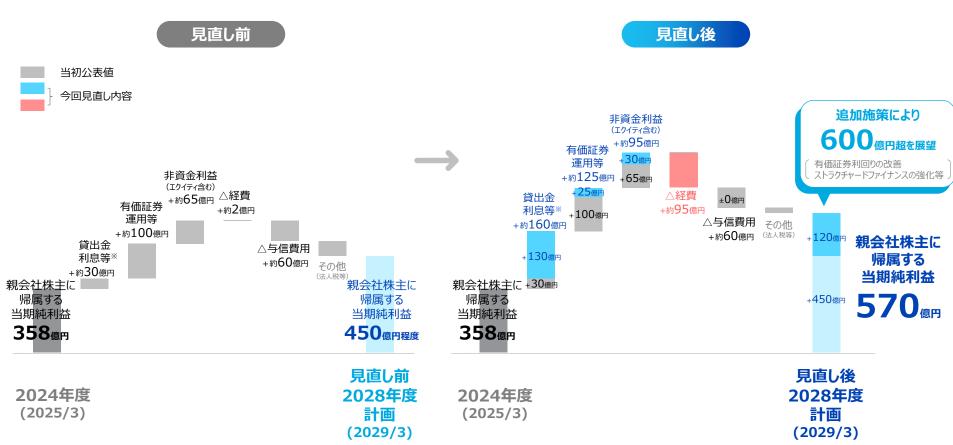


- ➡ 「中期計画2024」で定めた連結自己資本比率および 連結BPSは現行通り 詳細p.20
- ➡ 地域活性化指標の達成に向けた当社グループの取組みの 一部見直し 詳細p.21

連結ROEの水準

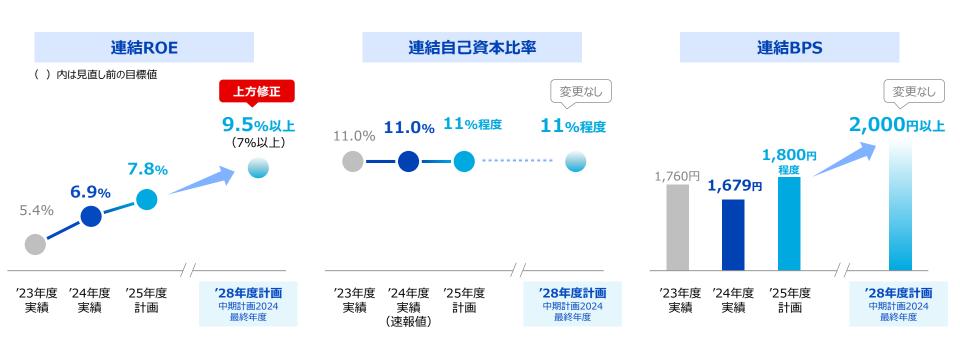


(参考)目指す利益水準の見直し



当社グループの経営指標

当社グループの経営指標(2028年度)



地域活性化指標の達成に向けた当社グループの取組み

地域活性化指標と当社グループの取組み

地域活性化指標

広島県の 人口社会增減

減少幅縮小 (2028年)

広島県の 観光消費額

継続的な増加※ (2028年)

広島県の 温室効果ガス排出量

継続的な削減 (2028年度)

(※) 通過型から周遊型・滞在型観光 ヘシフトすることにより単価を引き上げる

当社グループの取組み(広島県における取組み)

スタートアップ・ベンチャー支援の件数



131

'24年度 '25年度'28年度

人材紹介の件数

131

61

変更なし

上方修正 街づくり・地域開発への関与件数



'24年度'25年度'28年度 変更なし 観光業への投融資額

5年間累計目標 350件 年度計画 達成 '25年度計画 '24年度計画 75 12件 '23年度 '24年度 '25年度 '28年度

5年間累計目標 1,300億円 '25年度計画 '24年度計画 242億円 170 163 163 758 758 758 758

'23年度 '24年度 '25年度 '28年度

内は見直し前の目標値

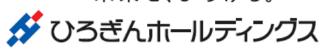




'24年度 '25年度

「街づくり・地域開発への関与件数」 「環境ファイナンス実行額」 の5年間累計目標を上方修正

未来を、ひろげる。



IV. 資本政策·株主還元

資本政策

- HD連結自己資本比率「11%程度」を目処とし、自己資本比率の水準に応じた運営を展開。
- 配当性向「40%程度」とする配当方針に加えて、機動的な自己株式取得を実施していく。

基本的な考え方 バランスの取れた経営 株主環元 収益力強化に向けた資本活用 11%程度 - アセットの積上げ を目処 - 戦略分野、人的資本への投資拡充等 継続的かつ着実な利益 (内部留保)の積上げ >>>

株主還元方針

配当性向

40%程度

総環元性向

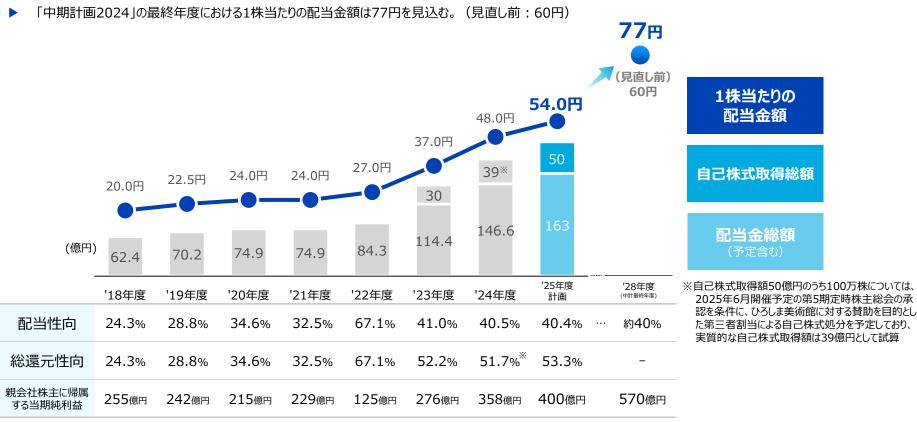
機動的な 自己株式取得

連結自己資本比率11%の考え方

- □ 自己資本比率における連単差(HD連結と銀行 単体の差)は、約1.0pt。
- □ 銀行単体の自己資本比率が10%程度の水準が 確保できていれば、ストレス時においても、規制値 以上の自己資本比率を維持することが可能。

株主還元

2025年度の1株当たり年間配当金は、前年比6.0円増配の54.0円を予定。



(注) 2020年10月1日にひろぎんHDを設立したことを受け、2020年度は、広島銀行が実施した1株当たり12円(配当金総額3,748百万円)の中間配当と合計で記載